

# 【特集】 愛がある町



近年、日本では、未婚率や平均初婚年齢が年々上昇傾向にあり、それに伴う少子化の進行が危惧されています。

特に若者世代の人口減少に悩む地方にとっては、これらの状況は深刻な問題であり、全国の各自治体などで解決するための対策が進められています。

平泉町においても、未婚化・晩婚化に歯止めをかけ、町内への定住促進を図るため、2015年度より町独自の婚活支援事業を開始しました。

今月号は町などが行っている婚活支援事業について紹介します。



全国的にも未婚化や晩婚化が進んでおり、その背景には結婚に対する考え方の変化があります。結婚することが当然で半ば「義務」と考えられていた時代から、現在は結婚することは「自由選択」という考え方に変わってきています。時代の変化を表す例として、お見合い結婚の減少が挙げられます。以前はお見合いによる結婚が全体の7割を占めていましたが、現在は自分で出合いを探す恋愛結婚が9割近くを占めるようになりました。

## 結婚したいが、できない…

未婚化が進んでいます。結婚したくないという若者が増えてきているわけではありませぬ。国立社会保障・人口問題研究所の第15回出生動向基本調査によると、18〜34歳の未婚者の約9割が、「いずれ結婚するつもり」と答えています。

町では未婚化や晩婚化に歯止めをかけ、結婚しやすい環境を整えるための支援として、2015年度から新たに2つの結婚推進事業をスタートさせています。事業の実施を希望する人や団体などは、まちづくり推進課までお申し込み、お問い合わせください。

【表3】全国の未婚者が結婚していない理由(25〜34歳の未婚者)

順位	男性	女性
1位	適当な相手にめぐり合わない	適当な相手にめぐり合わない
2位	まだ必要性を感じない	自由さや気楽さを失いたくない
3位	結婚資金が足りない	まだ必要性を感じない
4位	自由さや気楽さを失いたくない	趣味や娯楽を楽しみたい

(出典:国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査」)

町は婚活を応援します！  
町では未婚化や晩婚化に歯止めをかけ、結婚しやすい環境を整えるための支援として、2015年度から新たに2つの結婚推進事業をスタートさせています。事業の実施を希望する人や団体などは、まちづくり推進課までお申し込み、お問い合わせください。

## 幸せな結婚に向けて 平泉町の婚活支援

問い合わせ先…まちづくり推進課 ☎46-5578

**【2015年度平泉町婚活推進事業実績】**

**(1)平泉町婚活支援事業補助金**  
交付団体数…2団体  
合計補助金額…319,157円

**(2)平泉町縁結びコーディネーター事業**  
登録者数…2人  
成婚実績…0組

## 平泉町婚活支援事業補助金

### 婚活支援対策①

この事業は、町内に事務所などを有する企業やNPO法人、その他実行委員会などの団体が結婚活動を行う独身男女に出会いの場を提供する事業や婚活を推進するための講演会開催といった事業に要する経費を補助するものです。

交流イベントなどを開催する場合には、広く広報活動を行い、参加者の過半数以上が町内に居住や勤務する男女を対象とする必要があります。

項目	内容
補助対象団体	町内に住所を有し、婚活支援を推進する企業、NPO団体、実行委員会など
補助対象事業	独身男女に出会いの場を提供するための交流会やイベント、結婚を推進するための講演会など(2016年度末までに実施すること)
補助金額	20万円以内(必要に応じて3分の2以内の額を前払いできます)

## 平泉町縁結びコーディネーター事業

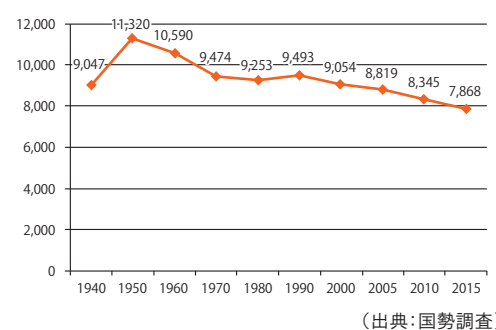
### 婚活支援対策②

縁結びコーディネーターとして活動いただける人を募集します。審査の上、コーディネーターとして登録し、独身の男女が結婚に至るまでの支援活動を行います。

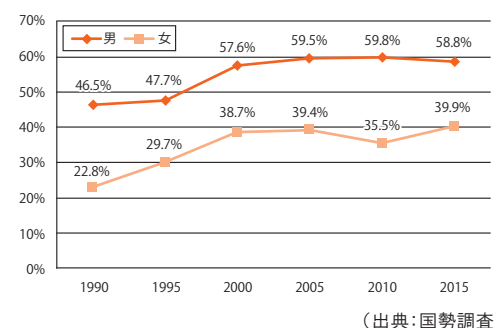
結婚を希望する独身の男女やその親族が直接連絡し、相談やお見合い希望などを伝えます。コーディネーターは相談者と直接会って話を伺い、希望や条件が合う人がいる場合には其々に出会いの場を提供し、婚活を支援します。

項目	内容
募集対象者	町内に住所を有し、縁結び事業の趣旨に賛同する人
活動内容	結婚を希望する独身の男女および親族からの相談に応じ、結婚に至るまでの支援を行うこと
謝礼金	1組の成婚につき5万円
その他	縁結び事業において通常の活動のために要する経費は、コーディネーター負担

【表1】平泉町の人口推移



【表2】平泉町の未婚率(25〜34歳)



「婚活」とは一体何のことか？  
最近、テレビや雑誌などで「婚活」という言葉をよく見かけるようになりまし。では婚活とは一体何のことでしょうか。  
「婚活」とは「結婚活動」の略称で、結婚するために積極的な活動を行うことです。企業に就職するために「就活(就職活動)」が必要のように、現代の日本では「婚活(結婚活動)」をしなければ結婚できない時代になってきているとも言われています。

なぜ「婚活」が必要なのか？  
平泉町の人口は1950年の1万1320人をピークに減り始め、2015年には8千人を下回っています。(表1参照)

町内への転入者に対して町外への転出者のほうが多い「社会減」、出生数に対して死亡数のほうが多い「自然減」を合わせると、直近過去10年間で毎年約95人ずつ人口が減り続けています。  
そこで町では、人口減少を抑えるため、町総合戦略に基づき、「社会減」解消に向けた定住化対策や雇用確保などの施策を進めています。また「自然減」を緩やかにするには、出生数を増やす必要があります。日本では出生する子どもの約98%が婚姻関係にある男女の子ともであることから、出生数を増やすためには結婚する人を増やすことが重要となります。しかし当町では未婚率が男女ともに年々上昇傾向となっています。(表2参照)